KCRC-26-0022

臨床研究の名称	特発性間質性肺炎における進行評価の定量化：quantitative PPF の予後予測の検証を目的とした多施設後ろ向き観察研究
研究責任者の所属・氏名	神奈川県立循環器呼吸器病センター　所長　小倉 高志
研究の概要	【目的】 特発性間質性肺炎は、肺が徐々にかたくなる（線維化する）病気の総称で、進行のしかたは患者さんごとにさまざまであるため、病気が進んでいる患者さんを早く見つけて適切な治療を始めることが大切です。近年、CT 画像により評価した線維性肺線維症（PPF）がその後の経過と関連がある指標として用いられていますが、国際的には呼吸器症状の悪化による評価が一般的であり、統一された評価尺度はまだ決められていません。 本研究では、息切れ、咳や活動の制限などの呼吸器症状と、CT 画像の AI 解析により PPF の状態を評価する方法を組み合わせて、病気の進行をより客観的・定量的に評価する新しい指標「quantitative PPF」を作成し、これまでの評価方法と比べて、将来の経過をより正確に予測できるかどうかを検討します。 【対象患者】 先行研究「【KRC-16-0005】特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究」（以下、JIPS Registry）への参加について、文書にて同意された特発性間質性肺炎の患者さんが対象です。 なお、この情報公開文書によるオプトアウトの対象は、当センターから JIPS Registry へ参加された患者さんとします。 【方法】 上記の方を対象に、下記情報を収集し、特定の個人を識別できない状態にして、共同研究機関である神戸市立医療センター中央市民病院に送付し、専門医による検討を行います。本研究では、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。 【使用する情報】 JIPS Registry にて収集したデータのうち、下記の情報を使用します。 患者背景、症状、身体所見、血液検査結果、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO2）、呼吸機能検査結果、６分間歩行試験結果、心臓超音波検査結果、外科的肺生検、気管支肺胞洗浄、在宅酸素療法、呼吸リ

	ハビリ、患者報告アウトカム（アンケート）、診断名、治療情報、有害事象、臨床イベント、予後情報、集学的検討（MDD）結果、CT/CR画像等 【提供の開始予定日】 2026 年 10 月開始予定 【研究代表者および所属機関】 神戸市立医療センター中央市民病院　呼吸器内科 部長　立川　良 【共同研究機関】 神戸市立医療センター中央市民病院 神奈川県立循環器呼吸器病センター
問い合わせ先	呼吸器内科　部長　馬場　智尚 〒236-0051　横浜市金沢区富岡東 6-16-1 神奈川県立循環器呼吸器病センター 電話番号　045-701-9581　（代表）

2026 年 9 月作成

※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。

※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。